

インドネシア 第2回ライフスタイル調査 2026

パート2:モビリティ・エネルギー編

～ウーシュ (Whoosh) ・電気(BEV)・燃料価格から見るインドネシアの移動と生活～



合同会社 サーベイマイ
2026年4月

調査概要

対象国：インドネシア

対象者条件：20歳～59歳の一般男女

質問数：50問のうちモビリティ部分

回収数：N=452

構成比：

	男性	女性
20-29	56	53
30-39	59	57
40-49	55	57
50-59	58	57



* 回答者提供写真

調査期間：2026年4月2日-4月3日

調査実施主体：合同会社サーベイマイ

一般情報

人口：約2億8500万人（2025年）

言語：インドネシア語

インターネット普及率：80.7%（2025年）

* <https://apjii.or.id/>

主要な対象者：詳細は最後の属性情報参照

世帯人数：平均 4人、大家族市場の実態を反映

対象層：都市部の中間層中心

資産背景：家庭の総資産 100万円以上が6割以上

換算基準：Rp 1百万 (1 Juta / 100万ルピア) ≒約 1万円

インドネシア・モビリティの潮目

ウーシュ (Whoosh)
現状評価



6割

(プロジェクトを好意的に評価)

近代化の象徴として期待が高まる一方、高額な料金設定が最大の利用障壁となっている。

ウーシュ (Whoosh)
延伸計画



**期待と
慎重論の対立**

若年層や女性、利用者は積極的だが、料金改善や駅周辺アクセス整備を求める声も多い。

燃料タイプ・BEV意向



**電気(BEV)
増加**

現在はガソリン車が主流だが、次回購入ではBEV関心がシフト。選択理由は燃料タイプごとに心理・期待値が明確に異なる。

燃料価格上昇の影響



9割強

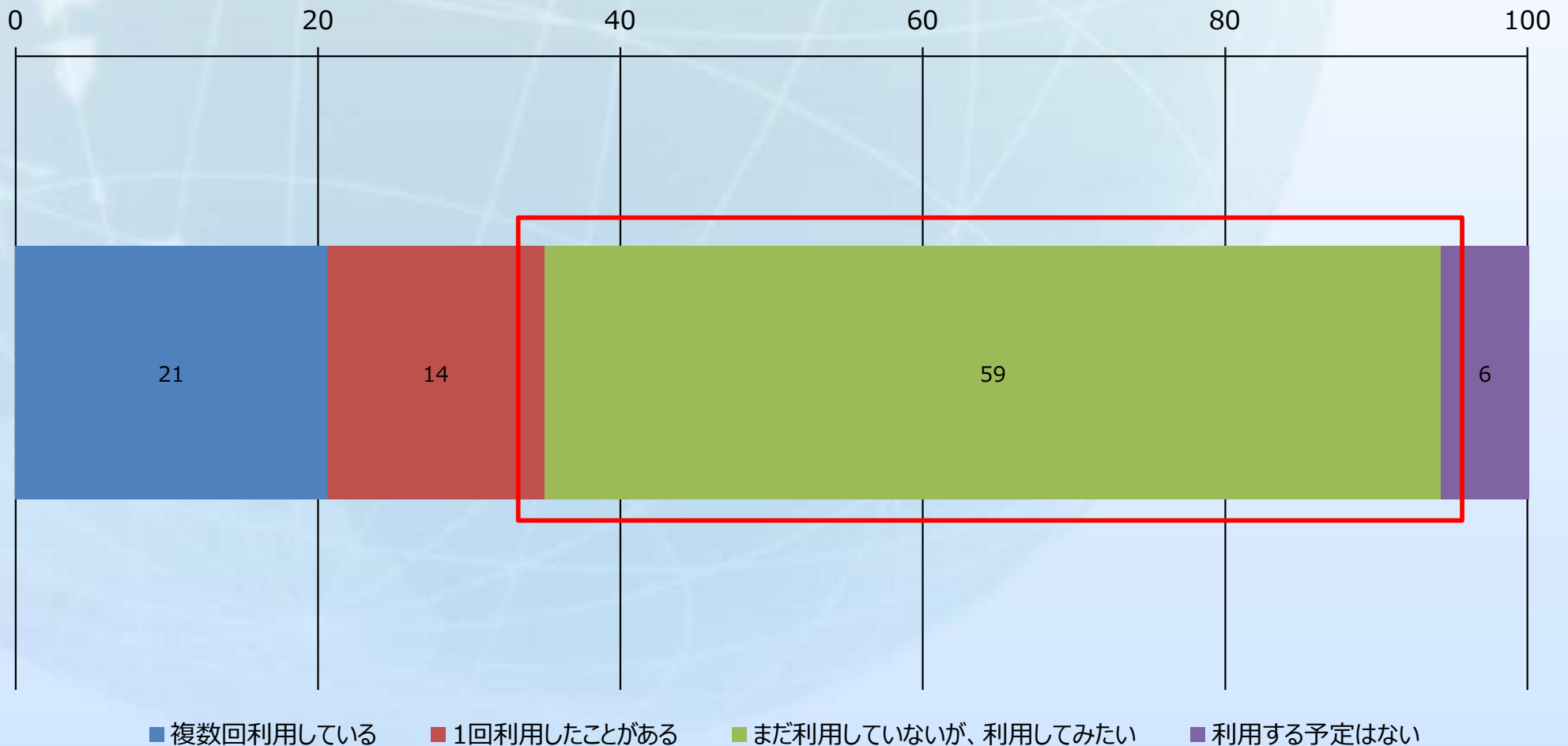
(世帯が節約を意識)

多くの世帯が節約に動く中、BEV意向層だけは高騰を「再エネへの転換期」と前向きに捉えている。

ジャカルターバンドン高速鉄道（Whoosh、ウーシュ）乗車歴

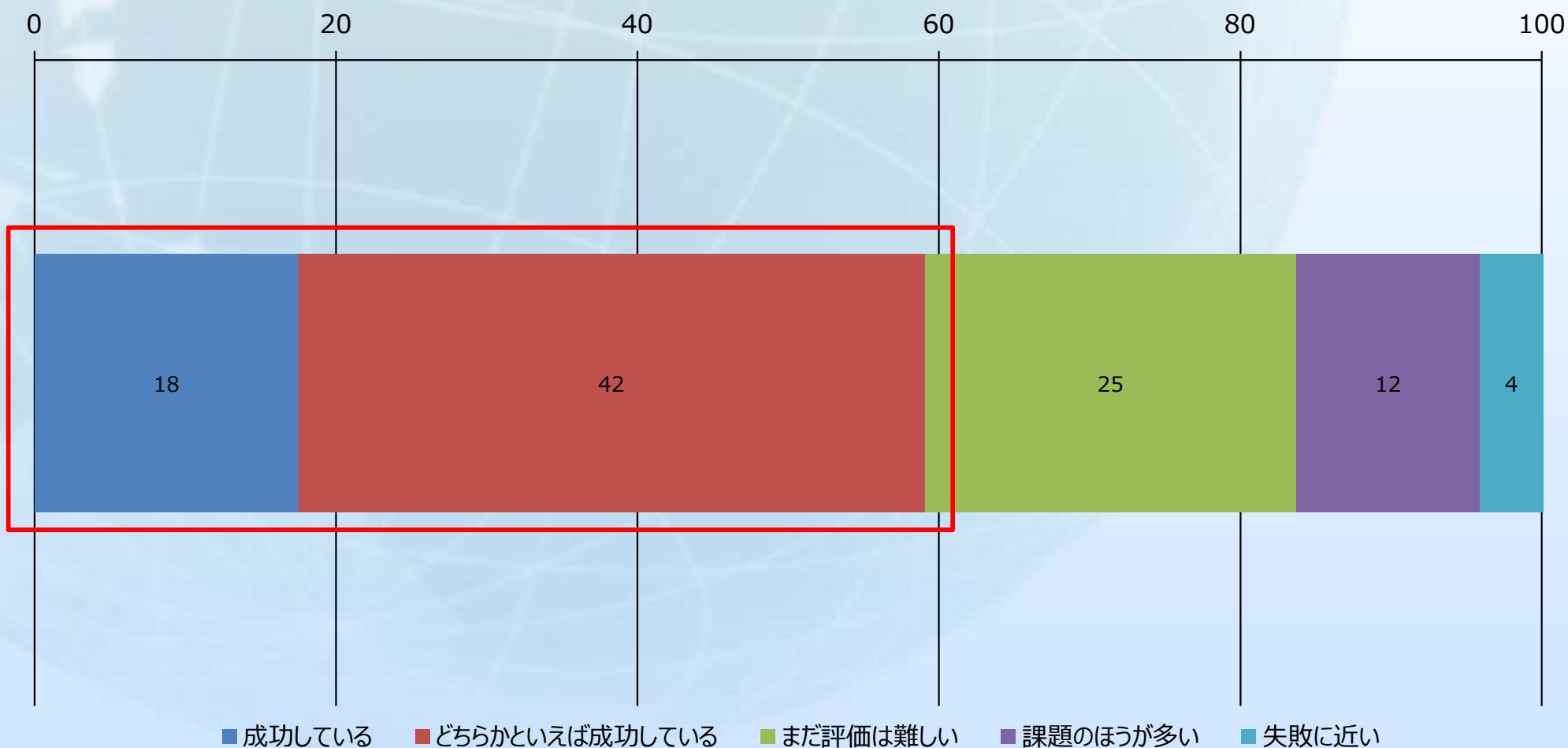
潜在的な利用ニーズの高さ：現時点での未経験層が中心だが、そのうち6割が将来的な利用に意欲的。

Q. ジャカルターバンドン高速鉄道(Whoosh)について、あなたに最も近いものを選んでください。(SA)



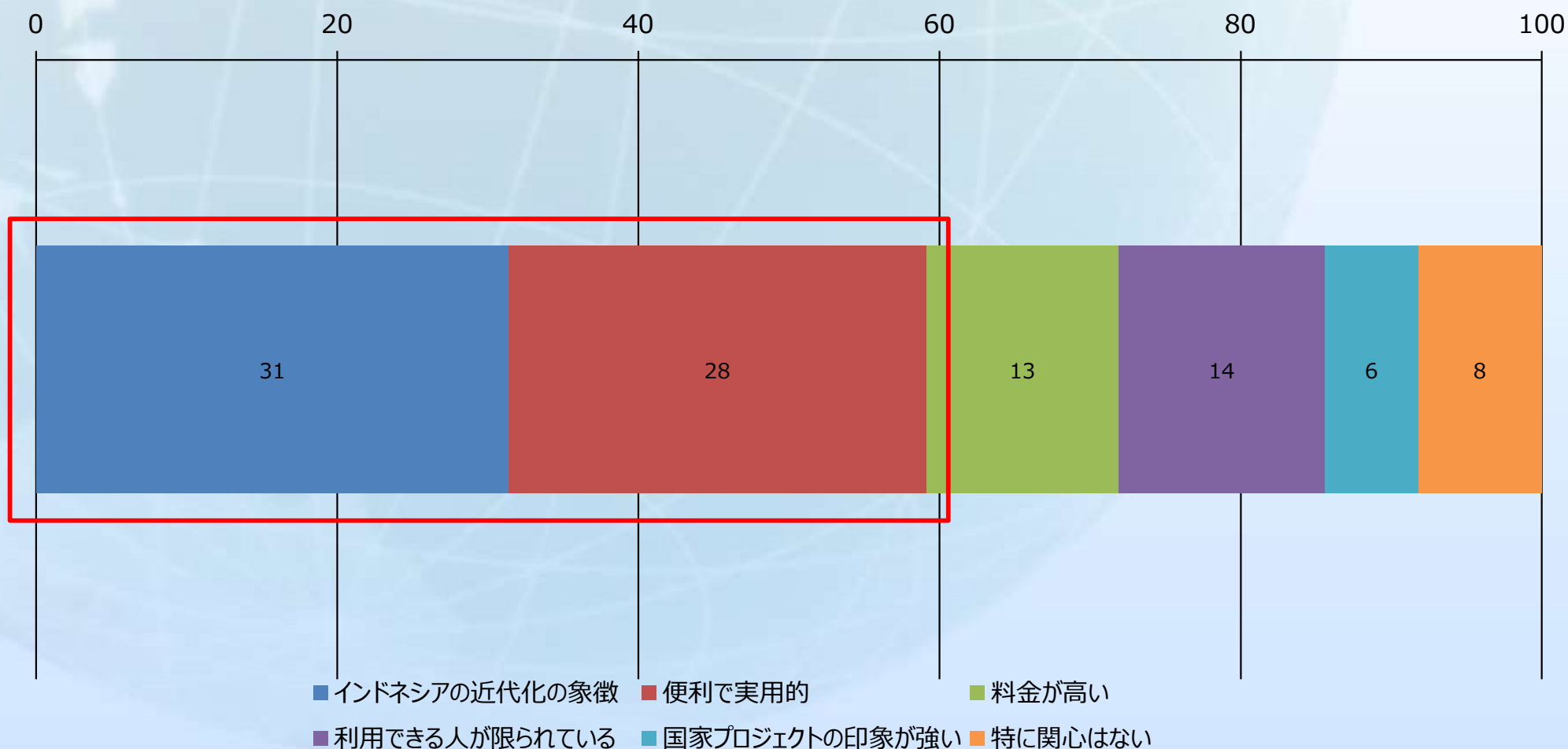
プロジェクトへの高い支持：回答者の6割が本プロジェクトを好意的に評価。
国民からの期待感は大い。

Q. 現在の高速鉄道プロジェクトについて、あなたの考えに最も近いものを選んでください。(SA)



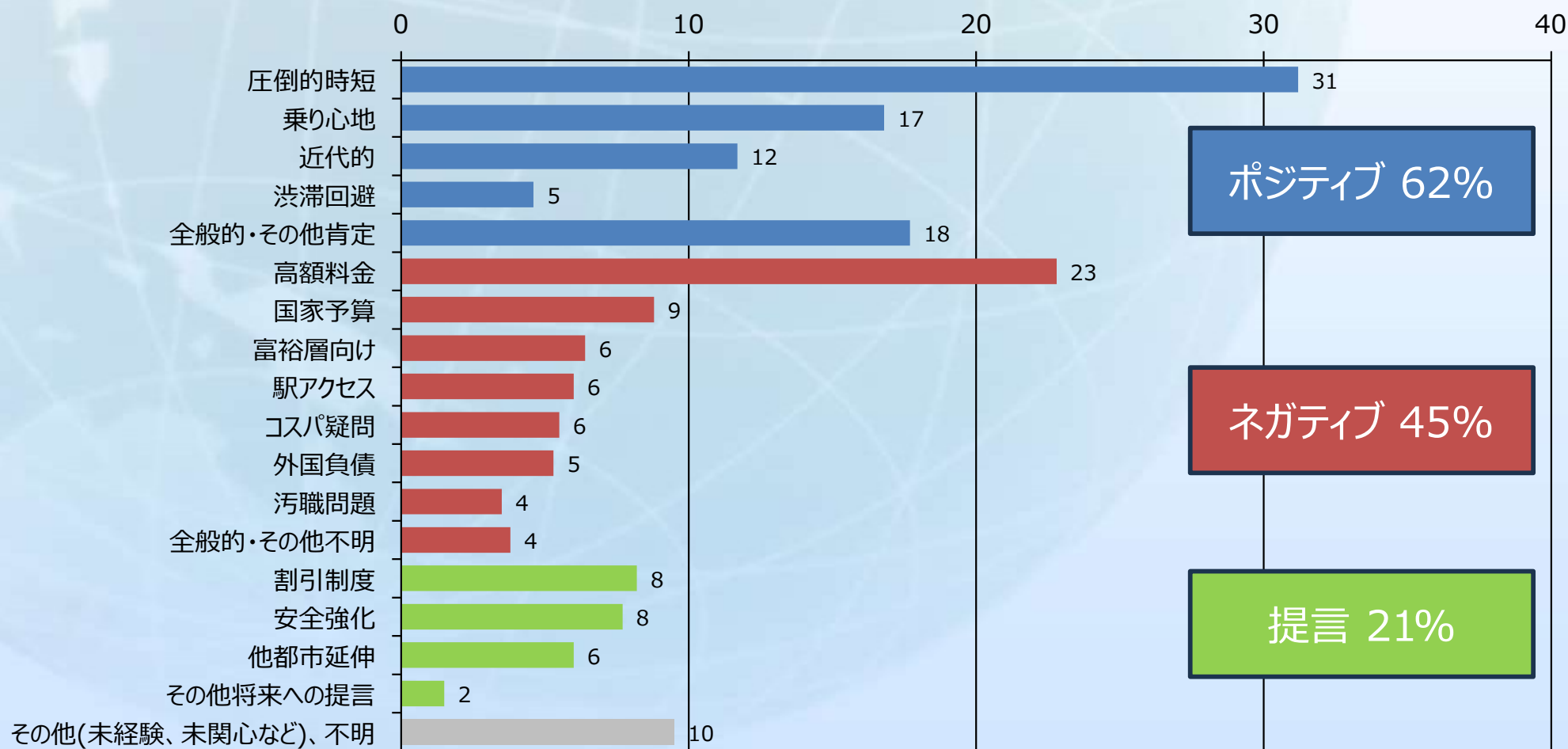
「期待」と「ハードル」の混在：全体的に好印象だが、価格設定やターゲットの限定感に対するシビアな視線も存在。

Q. 高速鉄道について、最も強い印象はどれですか？ (SA)



ポジティブの大半は時短・乗り心地が占める。
ネガティブは高額料金が筆頭で、国家財政負担・駅アクセスへの懸念も混在。

Q. 高速鉄道について、良い点・気になる点をどちらでもよいのでご記入ください。(例:料金、便利さ、駅へのアクセス、混雑、安全性、国の発展への影響など) (OA→AC(MA))



時短への高評価・料金とアクセスへの懸念・利便性向上への提案、3つの声が交錯。

Q. 高速鉄道について、良い点・気になる点をどちらでもよいのでご記入ください。(例:料金、便利さ、駅へのアクセス、混雑、安全性、国の発展への影響など) (OA→AC(MA))

圧倒的な時短

ポジティブ

Whoosh鉄道を利用することに特別な心配はありません、すべてが快適で、実用的で、チケット予約も簡単です。速度は驚異的で、時間を大幅に節約できます。

40代女性 会社員

高額料金

ネガティブ

チケット価格が高すぎて、利用者がチケットを購入するのが困難です。開発の影響として、社会により多くのサービスを提供すべきです。その一つとして路線を延長することです。

40代男性 無職

乗り心地

ポジティブ

座席が快適で安全、室内は涼しくて本当に良い、障害者にやさしい、可能な限り他の都市にも建設すべき。

20代男性 会社員

駅アクセスが課題

ネガティブ

駅へのアクセスを見直す必要があり、また電車内で混雑が発生した際の乗客の快適性についても、これまでに起こったような多くの悪い印象を生まないようにする必要があります。

20代女性 会社員

時間節約・価格は課題

賛否両論

Whooshは交通システムの発展において非常に良い影響を与えています。チケット価格はかなり高いですが、提供される時間節約に見合っています。

20代女性 会社員

期待と課題と提言

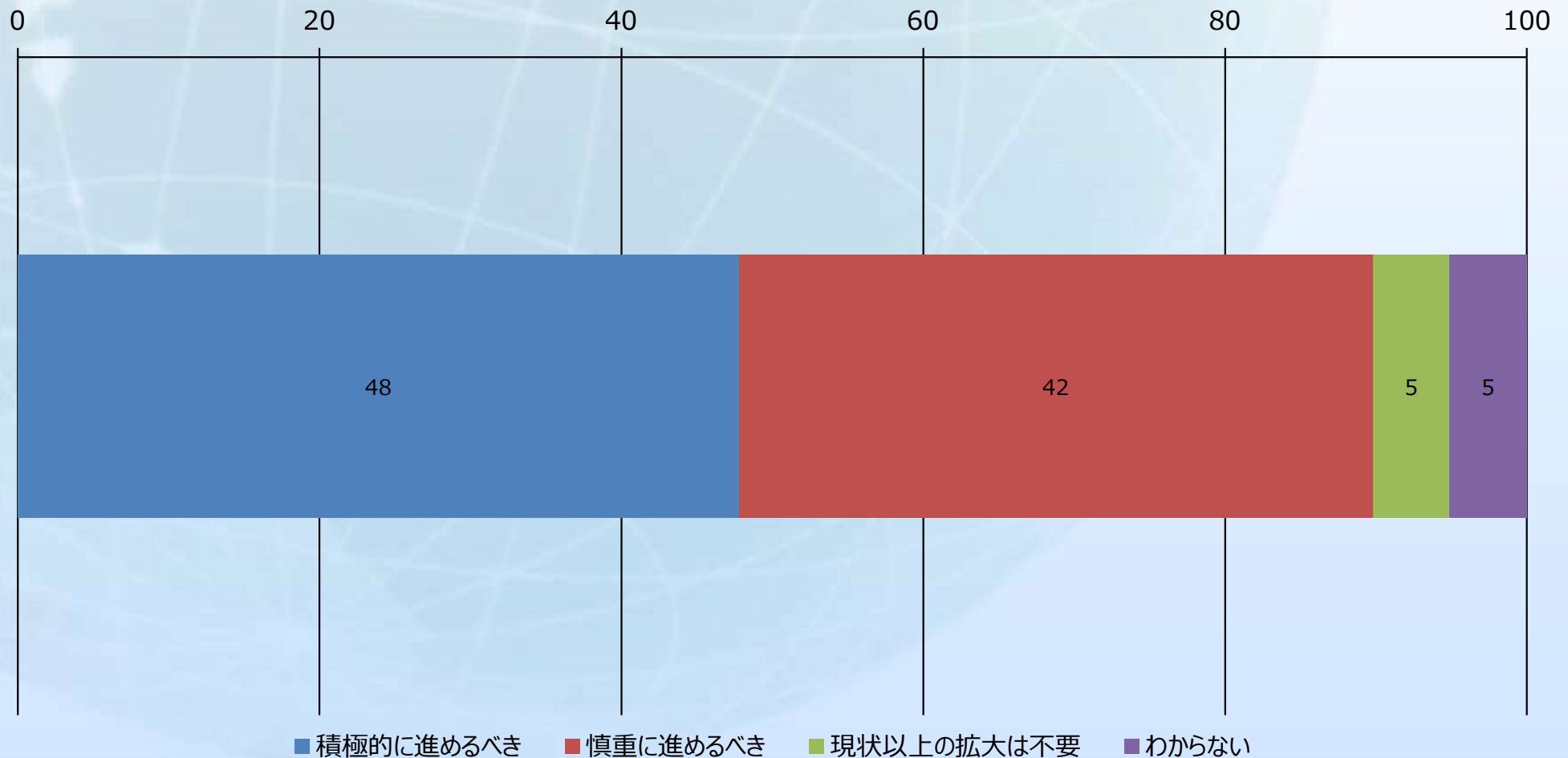
総合評価

技術は非常に先進的だと感じますが、チケット価格は日常利用には高すぎると感じます。駅までの公共交通機関のアクセスも全体的により実用的になるよう改善が必要です。バスは非常に安全で効率的な旅行体験を提供しますが、より定期的な料金プロモーションとラッシュ時の運行スケジュール追加を希望します。

40代女性 会社員

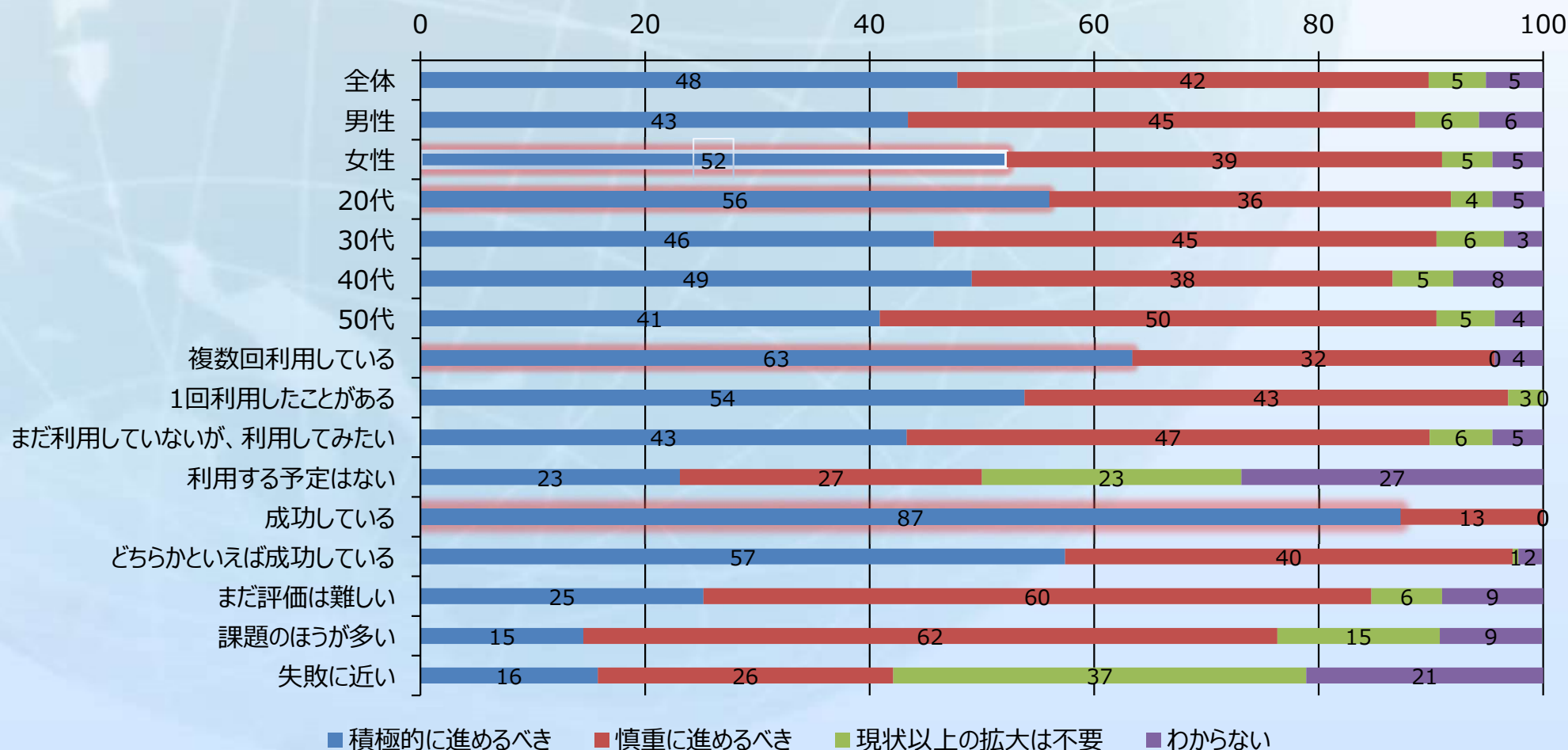
延伸計画に対する賛否の分断：都市間延伸に対し、早期拡大を望む積極派と、状況を注視する慎重派が真っ向から対立。

Q. 他都市への高速鉄道延伸についてどう思いますか？ (SA)



女性・若年層・複数回利用者ほど延伸に積極的で、ウーシュを成功と評価している層でも同傾向。

Q. 他都市への高速鉄道延伸についてどう思いますか？ (SA)



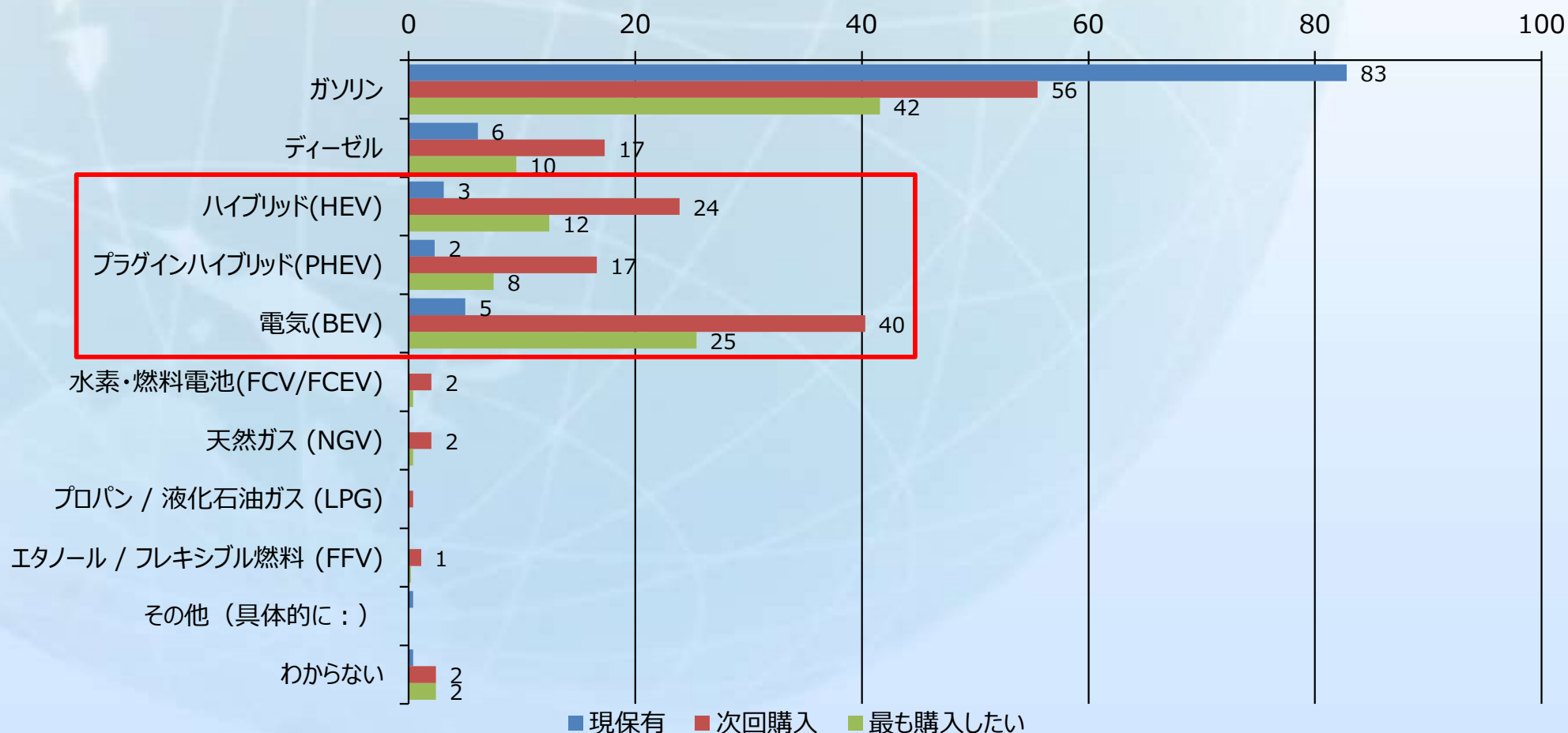
現保有車の燃料タイプと購入意向

ガソリン車主流も、次世代エネルギーへの転換期：現保有・次回意向共にガソリンが最多だが、
 電動車（BEV/HEV/PHEV）への関心も着実に浸透。

Q. 主にあなたが運転している自家用車の燃料タイプについてお答えください。(SA) ※保有者のみ

Q. 次に自動車を購入すると仮定した場合、購入したい燃料タイプについてお答えください。(MA)

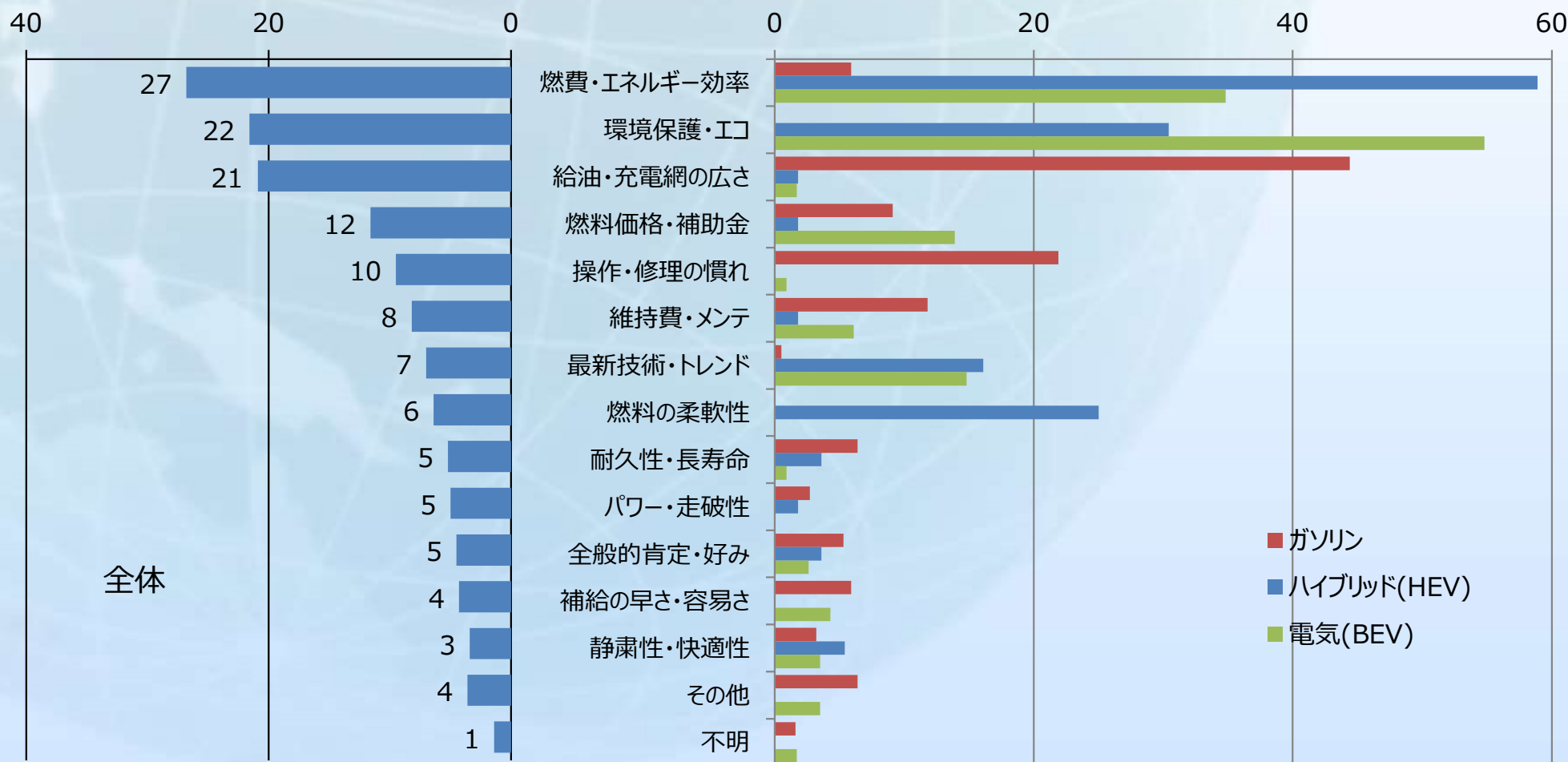
Q. 最も購入したい燃料タイプについてお答えください。(SA)



「燃費」「エコ」「インフラ網」が次世代車両購入の3大キーワード。ただし、燃料タイプによって、そのキーワードを選んだ「心理」と「期待値」は明確に分断されている。

Q. 最も購入したい燃料タイプについてその理由をお答えください。(OA→AC(MA))

※(左軸:全体、右軸:燃料タイプ別第1意向層)



ガソリン価格高騰に伴い電気自動車（BEV）の魅力がより上がったものの、安全かつ慣れ親しんだガソリン車が人気。

Q. 最も購入したい燃料タイプについてその理由をお答えください。(OA)

項目	ガソリン(n=188)	ハイブリッド(HEV)(n=56)	電気 (BEV) (n=115)
1位	給油・充電網の広さ (44%)	燃費・エネルギー効率 (59%)	環境保護・エコ (55%)
2位	操作・修理の慣れ (22%)	環境保護・エコ (30%)	燃費・エネルギー効率 (35%)
3位	維持費・メンテ (12%)	最新技術・トレンド (16%)	最新技術・トレンド (15%)

▼ 代表的なコメント (自由回答より抜粋)

ガソリン 🚗

👍 20代男性 会社員

💬 これは現在の状況において最も現実的な選択肢であり、つまり最も多くて見つけやすいものだからです。

👍 40代男性 パート・アルバイト

💬 この種の車は既にとても馴染みがあり、メンテナンスも簡単だからです。

ハイブリッド 🚗

👍 20代男性 会社員

💬 燃料使用の効率性、燃料購入費用の節約、大気汚染をあまり発生させない環境に優しい、快適性。

👍 50代女性 個人経営・自営業

💬 環境と自然を守ることに参加したいし、この選択は現在の住居の状況に合わせて調整できる変化により柔軟だから。

電気 🚗

👍 30代女性 会社員

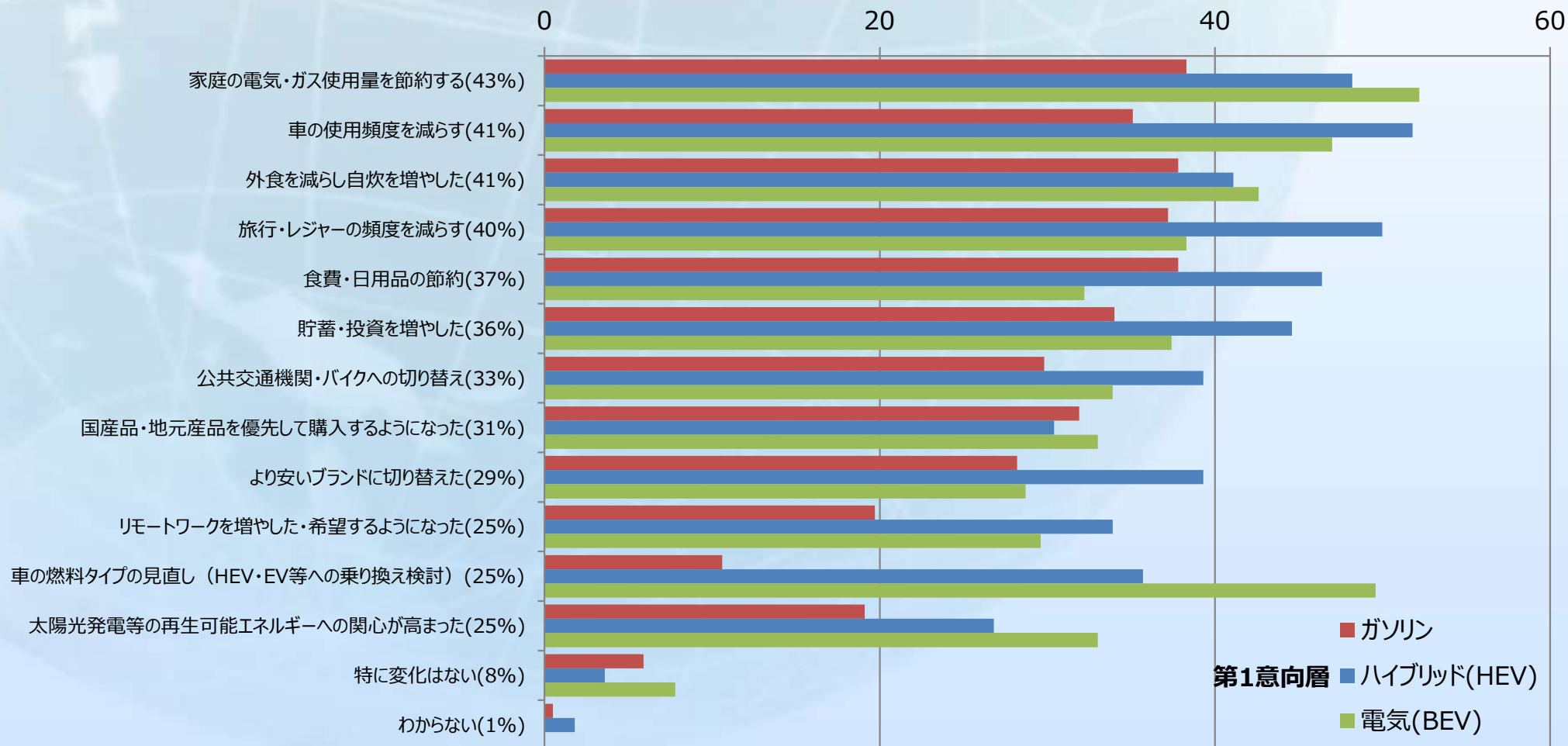
💬 化石燃料の使用を減らし、電気燃料は計算するとはるかに安い。

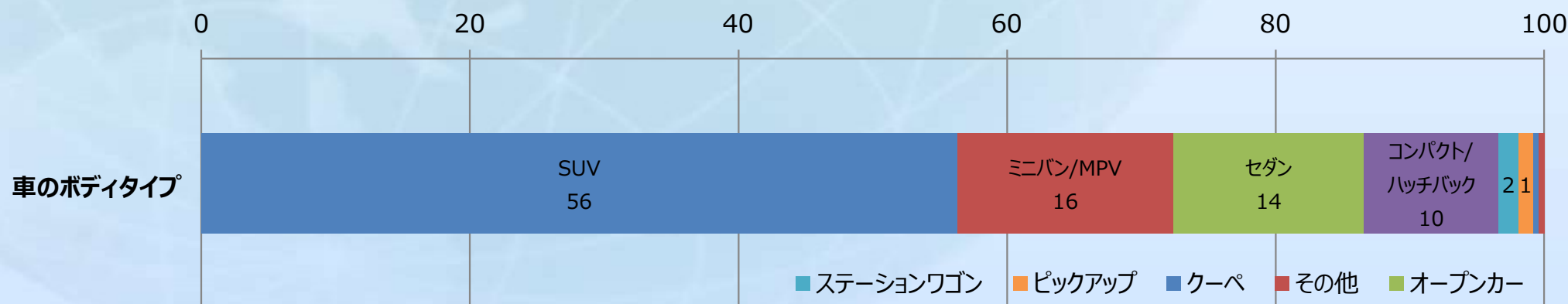
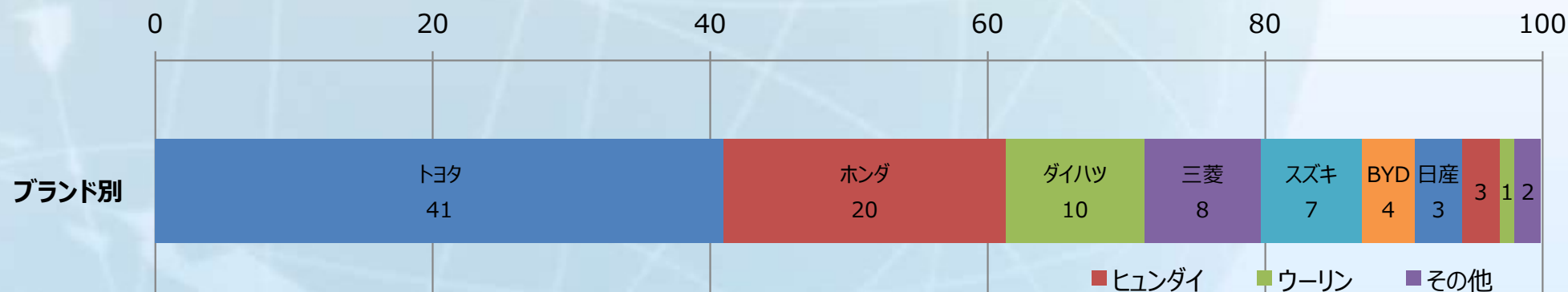
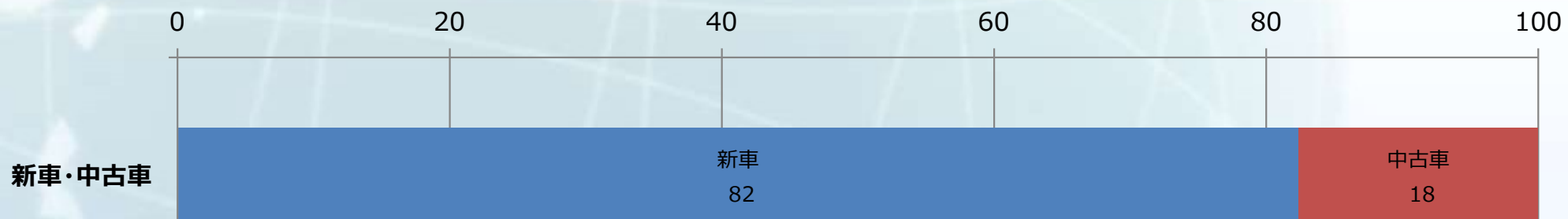
👍 20代男性 会社員

💬 今流行っているし、戦争による不安定なガソリン価格を避けることができるからです。

エネルギー高騰が消費を抑制：多くの世帯が節約に動く一方、電気(BEV)意向層は転換の好機と捉えている。

Q. 燃料・エネルギー価格の上昇は、あなたの生活においてどのような変化をもたらしましたか、またはもたらすと思いますか？(いくつでも) (MA) ※項目名の()内は全体の回答割合

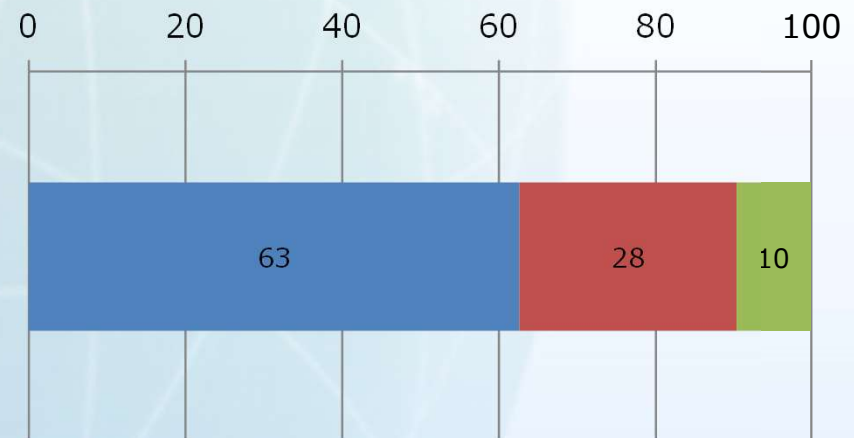
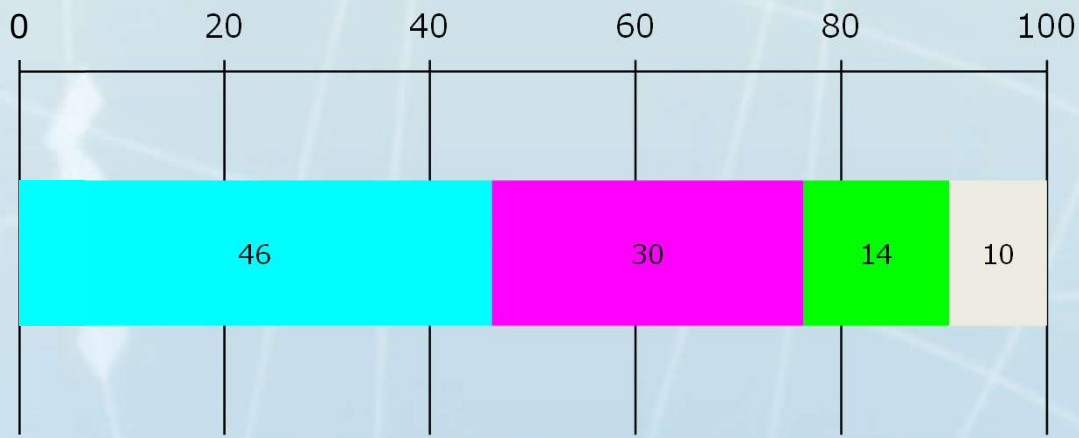




属性情報

居住地

F. 居住地



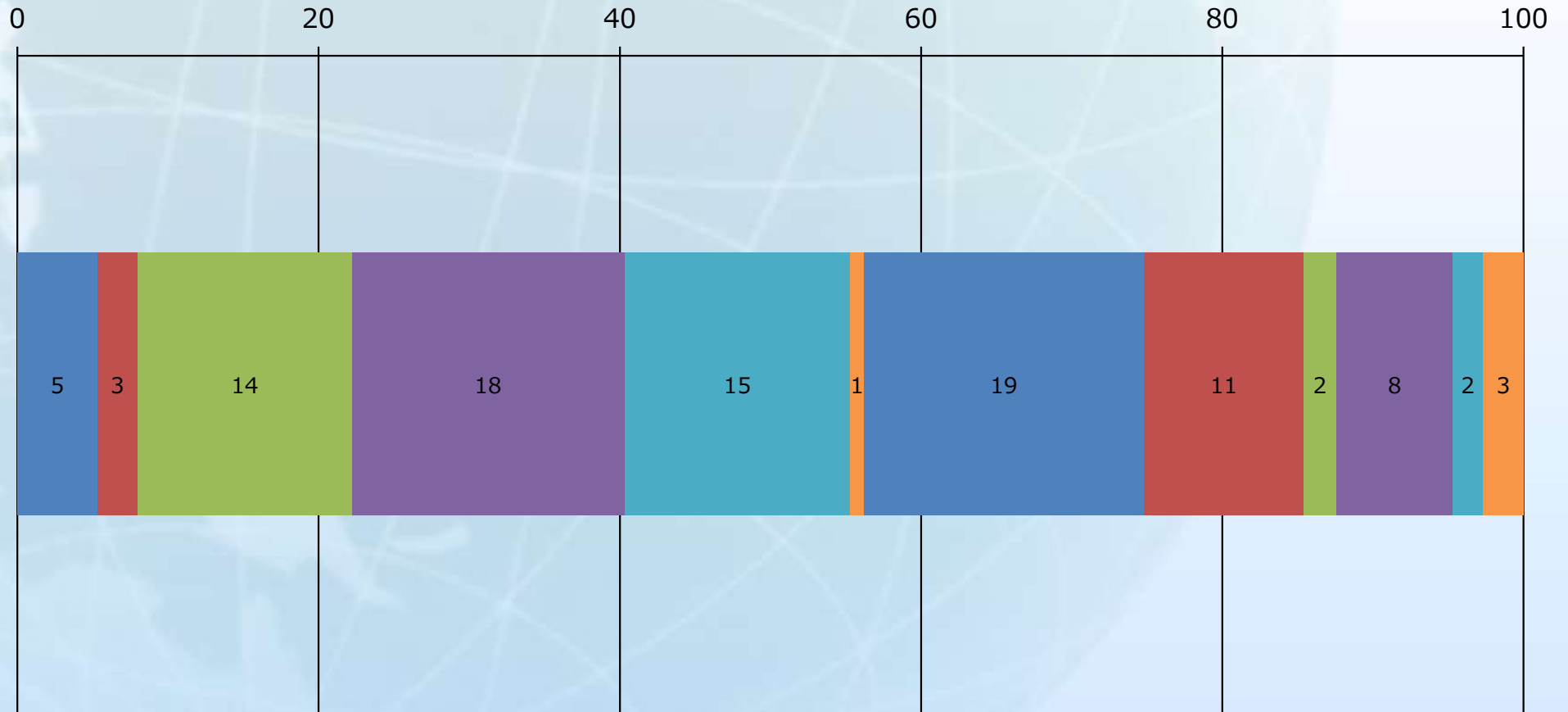
■ グレーター・ジャカルタ圏
■ 中部・東ジャワ圏
■ スマトラ・エリア
■ その他エリア

*ジャワ島全体で76%

■ 都市 (大都市または都市)
■ 郊外 (都市近郊の住宅地)
■ 田舎 (都市以外の定住地)



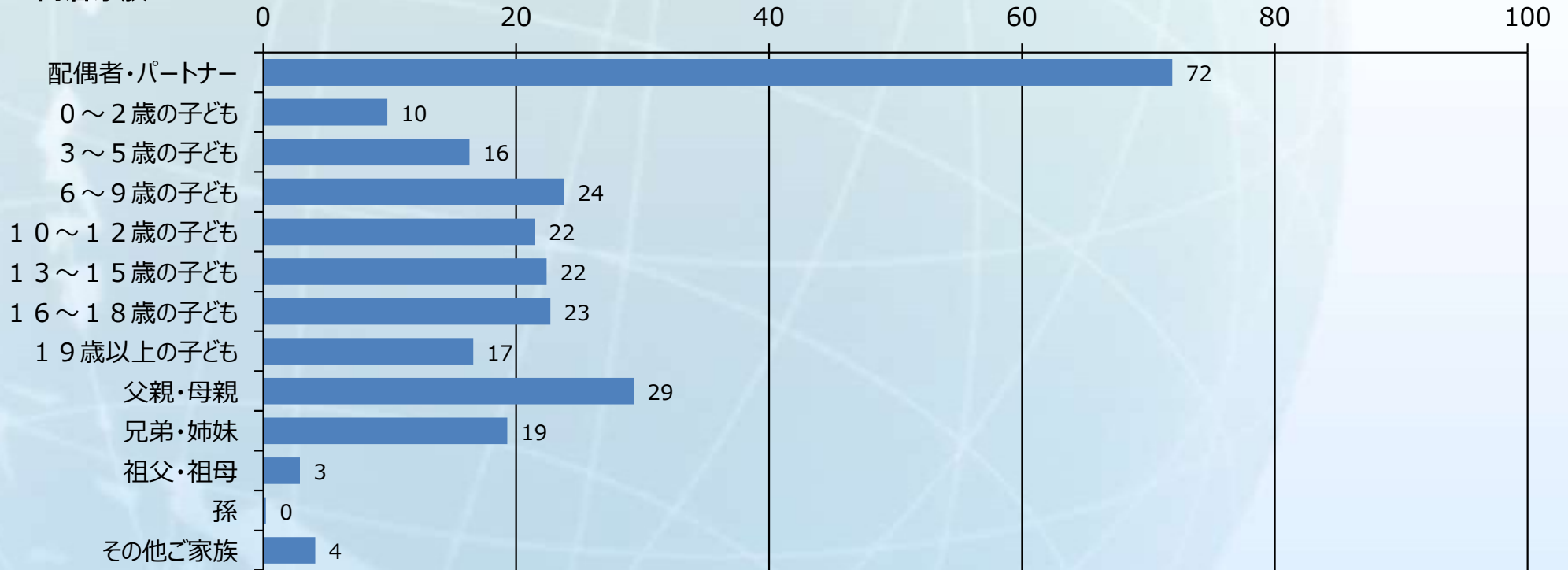
F. 職業 (SA)



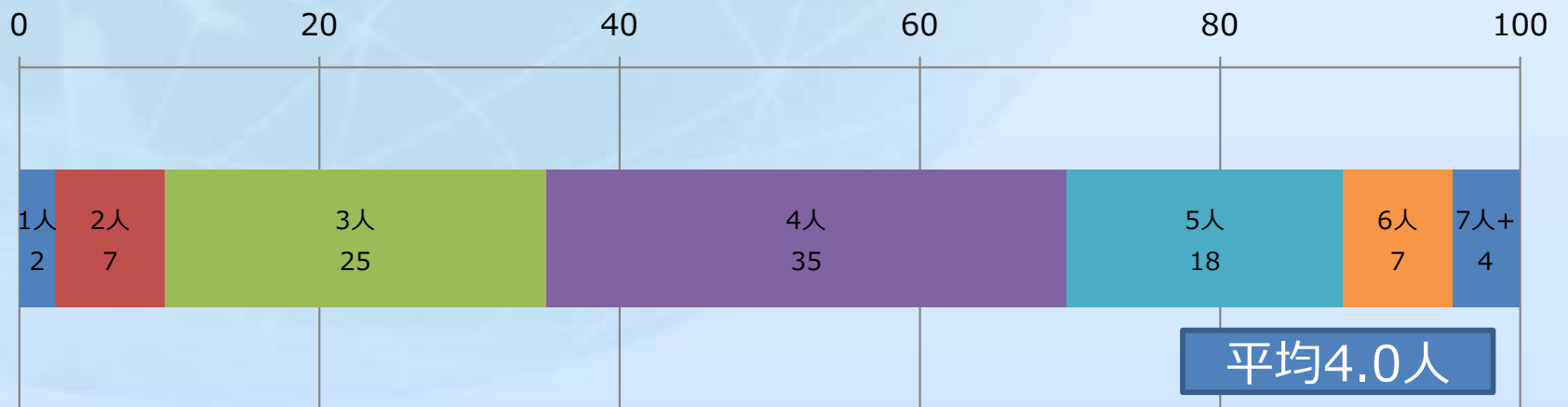
- 公務員
- 専門職 (弁護士、会計士、医師等)
- 会社員 (上級管理職)
- 会社員 (中間管理職)
- 会社員 (一般)
- 飲食店・ホテル等の店員
- 個人経営・自営業
- パート・アルバイト
- 学生
- 専業主婦/主夫
- 無職
- その他

同居家族

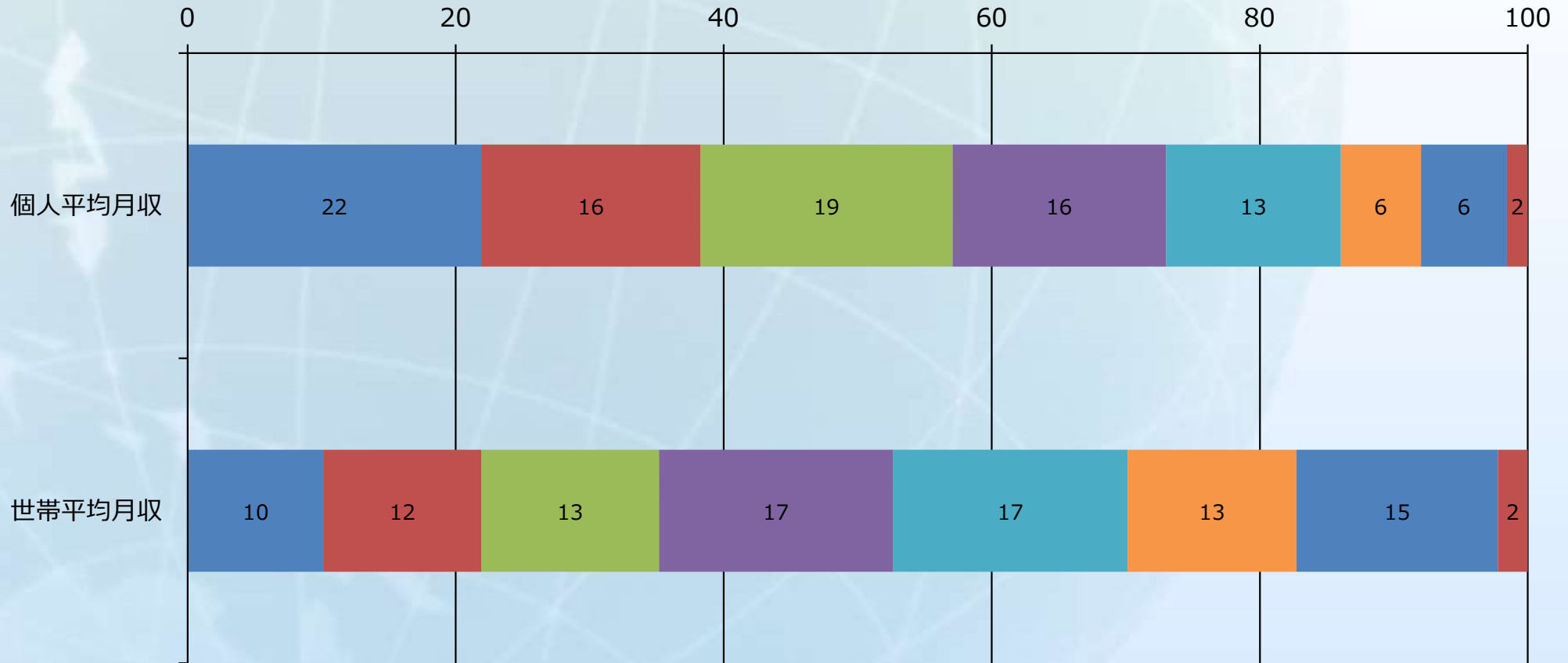
F. 同居家族



F. 世帯人数



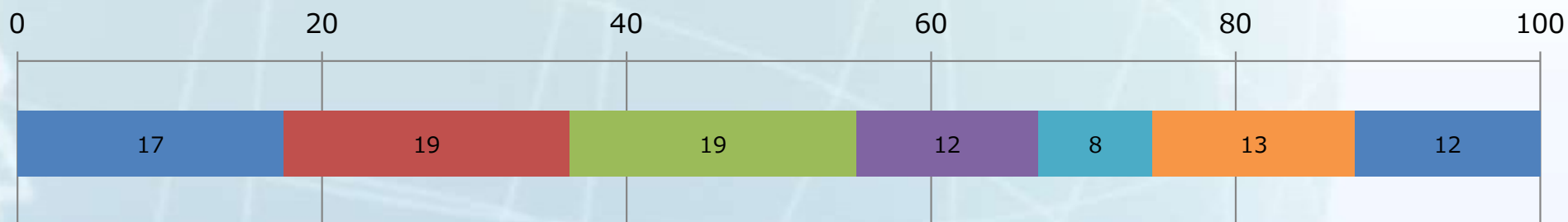
F. 平均月収



- Rp 3百万 未満 (～3万円)
- Rp 3百万 ～ 5百万 (3～5万円)
- Rp 5百万 ～ 7百万 (5～7万円)
- Rp 7百万 ～ 10百万 (7～10万円)
- Rp 10百万 ～ 15百万 (10～15万円)
- Rp 15百万 ～ 20百万 (15～20万円)
- Rp 20百万 以上 (20万円以上)
- 回答したくない/分からない

※ 換算目安：Rp 1百万 (1 Juta) ≒ 約 1万円
 (100 Rp = 0.94円 で算出。現地の購買力感覚に合わせた近似値)

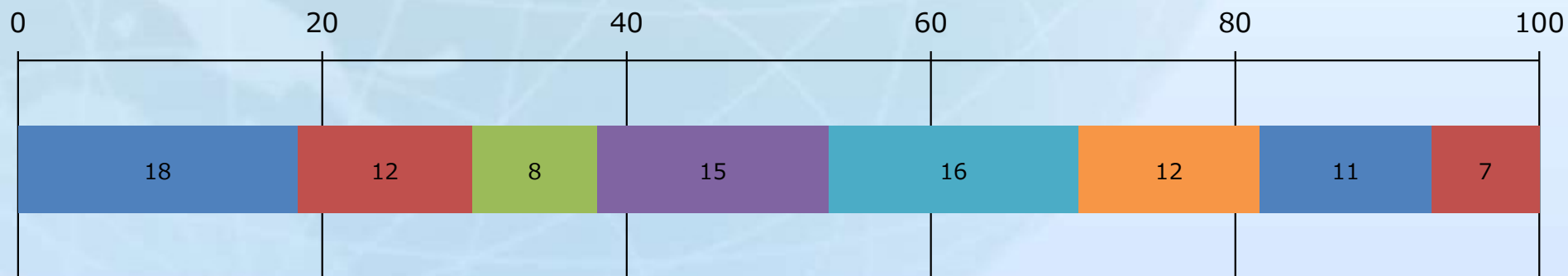
F. 1か月の可処分金額 * Rp100≒0.94円



- Rp 1百万 未満 (~1万円相当)
- Rp 1百万 ~ 2百万 (1万~2万円相当)
- Rp 2百万 ~ 3百万 (2万~3万円相当)
- Rp 3百万 ~ 4百万 (3万~4万円相当)
- Rp 4百万 ~ 5百万 (4万~5万円相当)
- Rp 5百万 ~ 7百万 (5万~7万円相当)
- Rp 7百万 以上 (7万円相当以上)

平均Rp 3,494,326 (3.5万円相当)

F. 総資産額 (SA)



- Rp 20百万 未満 (~20万円相当)
- Rp 100百万 ~ 250百万 (100万~250万円相当)
- Rp 500百万 ~ 750百万 (500万~750万円相当)
- Rp 1,000百万 以上 (1,000万円相当以上)
- Rp 20百万 ~ 100百万 (20万~100万円相当)
- Rp 250百万 ~ 500百万 (250万~500万円相当)
- Rp 750百万 ~ 1,000百万 (750万~1,000万円相当)
- 回答したくない/分からない